

運用報告書 (全体版)

新光ブラジル債券ファンド

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	2008年12月22日から2023年12月8日まで。	
運用方針	投資信託証券を主要投資対象として、長期的に安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	新光ブラジル債券ファンド	以下の投資信託証券を通じて、主としてブラジルレアル建てのブラジル国債に実質的に投資を行います。 ブラジル籍外国投資法人 ユニバンコ・ブラジル・ソプリ ン・エヌアールアイの投資証券 内国証券投資信託(親投資信託) 短期公社債マザーファンドの受益証券
	ユニバンコ・ブラジル・ソプリ ン・エヌアールアイの投資証券	ブラジルレアル建てのブラジル国債
	短期公社債マザーファンド	わが国の公社債
運用方法	投資信託証券を通じて、主としてブラジルレアル建てのブラジル国債に実質的に投資を行い、長期的に安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。各投資信託証券への投資割合は、資金動向や市場動向などを勘案して決定するものとし、ブラジル債券・ファンドの組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。	
組入制限	新光ブラジル債券ファンド	投資信託証券および短期金融商品(短期運用の有価証券を含みます。)以外には投資を行いません。投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
	短期公社債マザーファンド	株式への投資は行いません。外資連資産への投資は行いません。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。分配金額は、経費控除後の利子・配当等収益を中心に安定した分配を行うことを目標に委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

第137期	<決算日	2020年7月8日>
第138期	<決算日	2020年8月11日>
第139期	<決算日	2020年9月8日>
第140期	<決算日	2020年10月8日>
第141期	<決算日	2020年11月9日>
第142期	<決算日	2020年12月8日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「新光ブラジル債券ファンド」は、2020年12月8日に第142期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された

販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

新光ブラジル債券ファンド

■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			債券組入率	投資証券比率	純資産額
		(分配落)	税金 込 配 金	期騰 落 率			
第20作成期	113期(2018年7月9日)	円 1,942	円 40	% 3.7	% -	% 94.9	百万円 57,687
	114期(2018年8月8日)	2,002	40	5.1	-	95.3	58,875
	115期(2018年9月10日)	1,782	40	△9.0	-	94.1	52,112
	116期(2018年10月9日)	1,965	40	12.5	-	94.5	57,011
	117期(2018年11月8日)	2,019	20	3.8	-	94.9	58,198
	118期(2018年12月10日)	1,908	20	△4.5	-	95.3	52,037
第21作成期	119期(2019年1月8日)	1,945	20	3.0	-	93.3	52,165
	120期(2019年2月8日)	1,980	20	2.8	-	95.4	51,999
	121期(2019年3月8日)	1,918	20	△2.1	-	94.6	49,804
	122期(2019年4月8日)	1,914	20	0.8	-	94.8	49,372
	123期(2019年5月8日)	1,843	20	△2.7	-	94.5	47,362
	124期(2019年6月10日)	1,882	20	3.2	0.1	96.3	47,867
第22作成期	125期(2019年7月8日)	1,926	20	3.4	0.2	96.3	48,165
	126期(2019年8月8日)	1,811	20	△4.9	0.2	96.5	44,022
	127期(2019年9月9日)	1,766	20	△1.4	0.2	96.7	42,349
	128期(2019年10月8日)	1,755	20	0.5	0.2	97.1	41,774
	129期(2019年11月8日)	1,799	20	3.6	0.2	97.3	42,031
	130期(2019年12月9日)	1,747	20	△1.8	0.2	96.5	40,448
第23作成期	131期(2020年1月8日)	1,750	20	1.3	0.2	94.8	40,190
	132期(2020年2月10日)	1,669	20	△3.5	0.2	95.6	37,777
	133期(2020年3月9日)	1,451	20	△11.9	0.2	95.2	32,691
	134期(2020年4月8日)	1,317	20	△7.9	0.3	96.1	29,256
	135期(2020年5月8日)	1,161	10	△11.1	0.4	95.6	25,578
	136期(2020年6月8日)	1,414	10	22.7	0.3	95.7	30,137
第24作成期	137期(2020年7月8日)	1,288	10	△8.2	0.4	96.3	26,618
	138期(2020年8月11日)	1,249	10	△2.3	0.4	96.4	25,152
	139期(2020年9月8日)	1,282	10	3.4	0.4	96.0	25,303
	140期(2020年10月8日)	1,183	10	△6.9	0.4	96.9	23,041
	141期(2020年11月9日)	1,202	10	2.5	0.4	97.0	22,870
	142期(2020年12月8日)	1,277	10	7.1	0.4	97.2	23,709

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「投資証券組入率」にはマザーファンドの比率を含みません。

(注4) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

(注5) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

■過去6ヶ月間の基準価額の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債 券 組 入 率	投 資 証 比	券 率
		騰 落 率	率			
第137期	(期首) 2020年6月8日	円 1,414	% -	% 0.3		% 95.7
	6月 末	1,286	△9.1	0.4		95.5
	(期末) 2020年7月8日	1,298	△8.2	0.4		96.3
第138期	(期首) 2020年7月8日	1,288	-	0.4		96.3
	7月 末	1,320	2.5	0.4		96.2
	(期末) 2020年8月11日	1,259	△2.3	0.4		96.4
第139期	(期首) 2020年8月11日	1,249	-	0.4		96.4
	8月 末	1,258	0.7	0.4		97.9
	(期末) 2020年9月8日	1,292	3.4	0.4		96.0
第140期	(期首) 2020年9月8日	1,282	-	0.4		96.0
	9月 末	1,186	△7.5	0.4		96.8
	(期末) 2020年10月8日	1,193	△6.9	0.4		96.9
第141期	(期首) 2020年10月8日	1,183	-	0.4		96.9
	10月 末	1,138	△3.8	0.5		96.4
	(期末) 2020年11月9日	1,212	2.5	0.4		97.0
第142期	(期首) 2020年11月9日	1,202	-	0.4		97.0
	11月 末	1,220	1.5	0.4		96.1
	(期末) 2020年12月8日	1,287	7.1	0.4		97.2

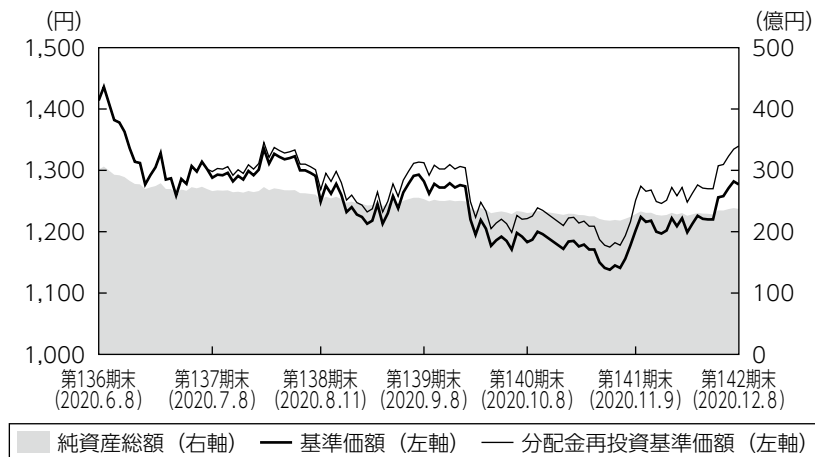
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「投資証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

■第137期～第142期の運用経過（2020年6月9日から2020年12月8日まで）

基準価額等の推移



第137期首： 1,414円
第142期末： 1,277円
（既払分配金60円）
騰落率： △5.2%
（分配金再投資ベース）

- （注1）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- （注2）分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- （注3）分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- （注4）当ファンドはベンチマークを定めておりません。

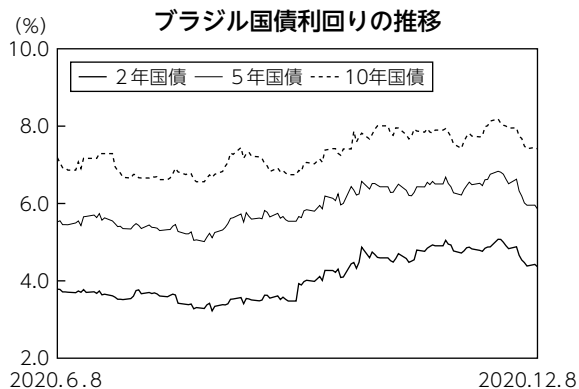
基準価額の主な変動要因

ユニバンコ・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイ（以下、ブラジルボンド・ファンド）投資証券等への投資を通じてブラジルリアル建てのブラジル国債などに投資を行いました。その結果、債券市場は堅調となったものの、ブラジルリアルが対円で軟調となったことから基準価額は下落しました。

投資環境

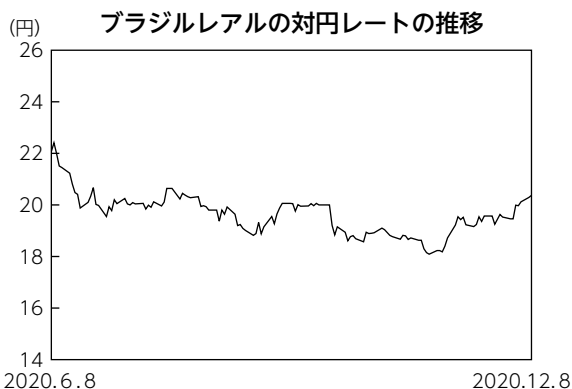
●ブラジル債券市場

作成期初は、低金利政策を背景に堅調となりましたが、財政への懸念やレアル安などから軟調な展開となりました。その後、ボルソナロ大統領が新型コロナウイルスの経済対策で実施している給付金の延長に対して否定的な見解を示したことなどから反発し、作成期末を迎えました。



●為替市場

ブラジルレアルは、景気の回復が見られたことが下支え要因となった一方、低金利政策の継続や、将来的な財政への懸念などを背景に対米ドル、対円ともに下落する流れとなりました。作成期末にかけては、新型コロナウイルスのワクチン開発に対する期待が高まったことや財政に対する懸念が後退したことなどから下落幅を縮小しました。



●短期金融市場

国内短期金融市場では、3ヵ月国庫短期証券利回りは日銀の金融緩和政策の影響からマイナス圏で推移しました。日銀が大規模な金融緩和政策を続けており、国債利回りに低下圧力がかかっていることが要因となりました。

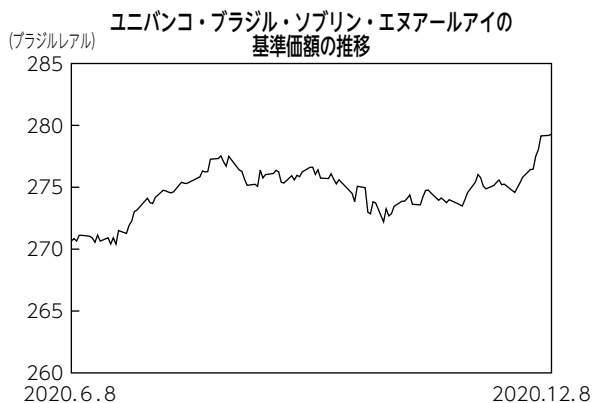
ポートフォリオについて

●当ファンド

資金動向に応じてブラジルボンド・ファンドの売買を行い、作成期間を通じてブラジルボンド・ファンドの高位組入れを維持しました。また、短期公社債マザーファンドへの投資も継続しました。

●ブラジルボンド・ファンド

安定した利息収入の確保を目指し、ブラジルレアル建てのブラジル国債を高位に組み入れて運用を行いました。当作成期間においては、引き続き物価連動債を中心にポートフォリオを構築しましたが、債券市場の値動きの荒い可能性を考慮し、変動金利債券の組み入れを引き上げました。デュレーションは将来の財政への懸念も考慮し、前作成期末と比較して短期化しました。



※基準価額は、当作成期間における分配金を再投資したものとみなして計算しています。

●短期公社債マザーファンド

残存期間の短い地方債などで運用を行いました。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第137期	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期
	2020年6月9日 ～2020年7月8日	2020年7月9日 ～2020年8月11日	2020年8月12日 ～2020年9月8日	2020年9月9日 ～2020年10月8日	2020年10月9日 ～2020年11月9日	2020年11月10日 ～2020年12月8日
当期分配金（税引前）	10円	10円	10円	10円	10円	10円
対基準価額比率	0.77%	0.79%	0.77%	0.84%	0.83%	0.78%
当期の収益	10円	10円	10円	10円	10円	10円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	964円	965円	969円	970円	973円	977円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

資金動向や市況動向などを考慮しながら、ブラジル債券・ファンドを高位に組み入れて運用を行う方針です。また、国内の短期金融市場動向に加え、資金繰りの状況等を勘案して、短期公社債マザーファンドの組み入れを適宜行う方針です。

●ブラジル債券・ファンド

ブラジル経済は、新型コロナウイルスの景気への影響を見定める必要があるものの、過去最低水準にある政策金利などが景気の下支えになると考え、緩やかながらも景気が回復すると見込まれます。債券市場に関しては財政政策に注視する必要がありますが、緩和的な金融政策が維持されると見られ底堅い動きを想定しています。

引き続き、安定した利息収入の確保を目指し、ブラジルレアル建てのブラジル国債を高位に組み入れる方針です。

●短期公社債マザーファンド

日銀は新型コロナウイルスによる景気落ち込みに対処するため、緩和的な金融政策を継続していくと予想しています。そのため、今後も公社債を中心に投資を行い、安定的な運用を目指していきます。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第137期～第142期 (2020年6月9日 ～2020年12月8日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	8円	
(投信会社)	(3)	(0.245)	
(販売会社)	(5)	(0.384)	
(受託会社)	(0)	(0.025)	
(b) その他費用	1	0.063	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(保管費用)	(1)	(0.063)	
(監査費用)	(0)	(0.000)	
合計	9	0.717	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

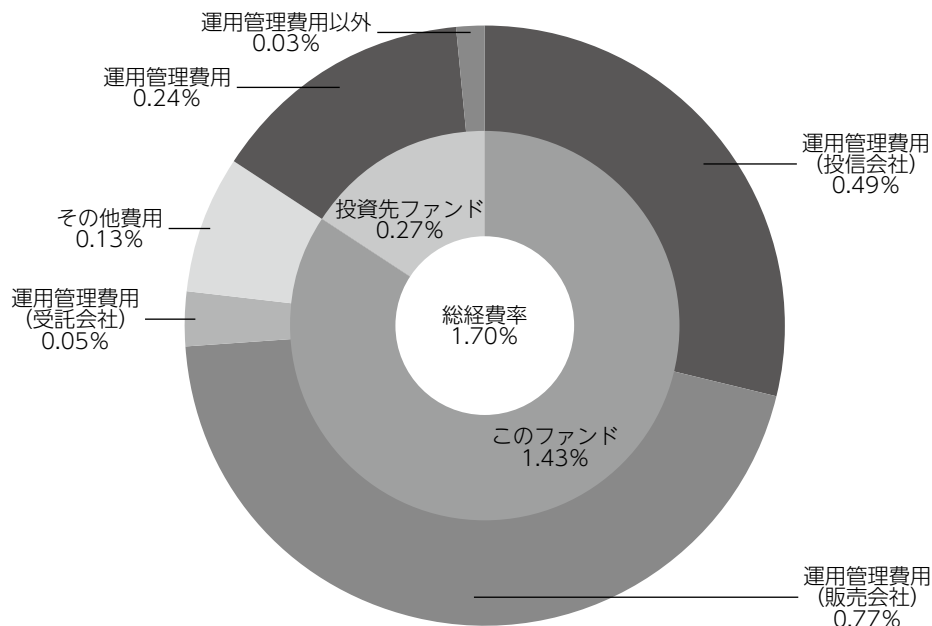
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.70%です。



総経費率 (①+②+③)	1.70%
①このファンドの費用の比率	1.43%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.24%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況 (2020年6月9日から2020年12月8日まで)

投資証券

		第 137 期 ~ 第 142 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国	ユニバンク・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイ	千□ -	千ブラジル・レアル -	千□ 493.2920931	千ブラジル・レアル 132,000

(注) 金額は受渡代金です。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況 (2020年6月9日から2020年12月8日まで)

期中の親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

■利害関係人との取引状況等 (2020年6月9日から2020年12月8日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第23作成期末	第 24 作 成 期 末		比 率	
	□ 数	□ 数	評 価 額		
			外貨建金額		邦貨換算金額
ユニバンク・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイ	千□ 4,826.1010536	千□ 4,332.8089605	千ブラジル・レアル 1,130,856	千円 23,035,542	% 97.2
合 計	4,826.1010536	4,332.8089605	1,130,856	23,035,542	97.2

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 比率は、期末の純資産総額に対する投資証券評価額の比率です。

(注3) 金額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

(2) 親投資信託残高

	第 23 作 成 期 末	第 24 作 成 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
短期公社債マザーファンド	千□ 107,294	千□ 107,294	千円 109,246

■投資信託財産の構成

2020年12月8日現在

項 目	第 24 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 証 券	23,035,542	95.9
短期公社債マザーファンド	109,246	0.5
コール・ローン等、その他	883,799	3.7
投資信託財産総額	24,028,589	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、23,035,542千円、95.9%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2020年12月8日における邦貨換算レートは、1ブラジル・レアル=20.37円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年7月8日)、(2020年8月11日)、(2020年9月8日)、(2020年10月8日)、(2020年11月9日)、(2020年12月8日)現在

項 目	第137期末	第138期末	第139期末	第140期末	第141期末	第142期末
(A) 資 産	27,088,341,880円	25,475,311,423円	26,146,163,675円	23,338,410,026円	23,189,325,805円	24,028,589,447円
コール・ローン等	1,345,634,634	1,130,406,554	1,200,652,705	898,965,889	898,184,045	883,799,999
投資証券(評価額)	25,633,471,213	24,235,668,836	24,290,324,407	22,330,208,104	22,181,905,727	23,035,542,685
短期公社債マザーファンド(評価額)	109,236,033	109,236,033	109,236,033	109,236,033	109,236,033	109,246,763
未 収 入 金	-	-	545,950,530	-	-	-
(B) 負 債	469,429,179	322,441,058	842,334,213	296,520,754	318,969,489	319,198,371
未 払 金	-	-	541,350,000	-	-	-
未払収益分配金	206,703,762	201,382,603	197,375,542	194,724,532	190,286,165	185,652,578
未払解約金	232,502,012	88,218,522	78,256,768	75,476,808	102,490,678	109,307,496
未払信託報酬	30,164,819	32,775,142	25,300,459	26,265,457	26,137,821	24,188,055
その他未払費用	58,586	64,791	51,444	53,957	54,825	50,242
(C) 純資産総額(A-B)	26,618,912,701	25,152,870,365	25,303,829,462	23,041,889,272	22,870,356,316	23,709,391,076
元 本	206,703,762,960	201,382,603,981	197,375,542,687	194,724,532,333	190,286,165,954	185,652,578,586
次期繰越損益金	△180,084,850,259	△176,229,733,616	△172,071,713,225	△171,682,643,061	△167,415,809,638	△161,943,187,510
(D) 受益権総口数	206,703,762,960□	201,382,603,981□	197,375,542,687□	194,724,532,333□	190,286,165,954□	185,652,578,586□
1万口当たり基準価額(C/D)	1,288円	1,249円	1,282円	1,183円	1,202円	1,277円

(注) 第136期末における元本額は213,089,255,924円、当作成期間(第137期~第142期)中における追加設定元本額は2,473,380,645円、同解約元本額は29,910,057,983円です。

■損益の状況

〔自 2020年6月9日 至 2020年7月8日〕〔自 2020年7月9日 至 2020年8月11日〕〔自 2020年8月12日 至 2020年9月8日〕〔自 2020年9月9日 至 2020年10月8日〕〔自 2020年10月9日 至 2020年11月9日〕〔自 2020年11月10日 至 2020年12月8日〕

項 目	第 137 期	第 138 期	第 139 期	第 140 期	第 141 期	第 142 期
(A) 配 当 等 収 益	281,421,834円	268,002,374円	271,228,554円	255,820,139円	254,255,943円	262,897,372円
受 取 配 当 金	281,461,383	268,033,167	271,259,779	255,854,017	254,271,986	262,914,006
受 取 利 息	300	274	239	138	91	115
支 払 利 息	△39,849	△31,067	△31,464	△34,016	△16,134	△16,749
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△2,655,246,992	△811,922,031	603,178,369	△1,949,763,314	316,116,255	1,345,375,491
売 買 益	8,866,781	4,795,681	852,543,054	7,831,556	369,750,257	1,346,184,865
売 買 損	△2,664,113,773	△816,717,712	△249,364,685	△1,957,594,870	△53,634,002	△809,374
(C) 信 託 報 酬 等	△33,658,035	△36,034,016	△25,351,903	△32,669,504	△26,192,646	△27,161,157
(D) 当 期 繰 越 損 益 金 (A + B + C)	△2,407,483,193	△579,953,673	849,055,020	△1,726,612,679	544,179,552	1,581,111,706
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△45,014,574,430	△46,288,730,466	△46,048,823,606	△44,693,960,900	△45,464,606,351	△43,931,421,524
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△132,456,088,874	△129,159,666,874	△126,674,569,097	△125,067,344,950	△122,305,096,674	△119,407,225,114
(配 当 等 相 当 額)	(9,115,696,470)	(8,906,915,954)	(8,748,676,843)	(8,652,534,456)	(8,474,723,640)	(8,286,321,080)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△141,571,785,344)	(△138,066,582,828)	(△135,423,245,940)	(△133,719,879,406)	(△130,779,820,314)	(△127,693,546,194)
(G) 合 計 (D + E + F)	△179,878,146,497	△176,028,351,013	△171,874,337,683	△171,487,918,529	△167,225,523,473	△161,757,534,932
(H) 収 益 分 配 金	△206,703,762	△201,382,603	△197,375,542	△194,724,532	△190,286,165	△185,652,578
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△180,084,850,259	△176,229,733,616	△172,071,713,225	△171,682,643,061	△167,415,809,638	△161,943,187,510
追 加 信 託 差 損 益 金	△132,456,088,874	△129,159,666,874	△126,674,569,097	△125,067,344,950	△122,305,096,674	△119,407,225,114
(配 当 等 相 当 額)	(9,115,696,524)	(8,906,916,028)	(8,748,676,876)	(8,652,534,512)	(8,474,723,685)	(8,286,321,122)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△141,571,785,398)	(△138,066,582,902)	(△135,423,245,973)	(△133,719,879,462)	(△130,779,820,359)	(△127,693,546,236)
分 配 準 備 積 立 金	10,813,742,206	10,540,188,478	10,377,579,470	10,245,353,344	10,044,837,762	9,855,139,403
繰 越 損 益 金	△58,442,503,591	△57,610,255,220	△55,774,723,598	△56,860,651,455	△55,155,550,726	△52,391,101,799

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	第 137 期	第 138 期	第 139 期	第 140 期	第 141 期	第 142 期
(a) 経費控除後の配当等収益	247,855,253円	232,072,541円	263,448,915円	223,242,878円	242,675,622円	258,547,969円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収 益 調 整 金	9,115,696,524	8,906,916,028	8,748,676,876	8,652,534,512	8,474,723,685	8,286,321,122
(d) 分 配 準 備 積 立 金	10,772,590,715	10,509,498,540	10,311,506,097	10,216,834,998	9,992,448,305	9,782,244,012
(e) 当 期 分 配 対 象 額 (a+b+c+d)	20,136,142,492	19,648,487,109	19,323,631,888	19,092,612,388	18,709,847,612	18,327,113,103
(f) 1万口当たり当期分配対象額	974.15	975.68	979.03	980.49	983.25	987.17
(g) 分 配 金	206,703,762	201,382,603	197,375,542	194,724,532	190,286,165	185,652,578
(h) 1万口当たり分配金	10	10	10	10	10	10

■分配金のお知らせ

決 算 期	第 137 期	第 138 期	第 139 期	第 140 期	第 141 期	第 142 期
1 万口当たり分配金	10円	10円	10円	10円	10円	10円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

ユニバンコ・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイ

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

形態	ブラジル籍外国投資法人／ブラジルリアル建投資証券
主な運用方針	信用リスクの低い金融資産などを通じて国内金利商品に実質的に投資することにより受益者に利益を提供することを目的とします。金利市場の変動性が高まった場合においても、同市場への実質的な投資は維持します。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・純資産総額の98%以上をブラジル政府の発行する債券に投資します。 ・派生商品取引については、流動性を有し、時価評価が可能なものについて、保有証券の範囲内で、ポートフォリオの保護または実質的な投資比率の確保の目的で利用します。 ・低流動性資産への投資は純資産総額の15%未満とします。 ・有価証券の空売りは行いません。 ・レバレッジをかける運用は行いません。 ・資金の借り入れは原則として行いません。 ・レポ取引は行いません。 ・自らが発行するユニットを含む、いかなるファンドまたは投資スキームの受益権または持分の取得も行いません。 ・為替ヘッジは行いません。
信託期間	無期限
決算日	毎年12月31日
収益分配方針	設定当初を除き、原則として毎月、運用会社が決定した額を分配します。
信託報酬等	純資産総額に対して年率0.25%を乗じて得た額 上記の他、証券取引に伴う手数料、ファンドの設立に関連した費用などがファンドから支払われます。
関係法人	管理事務代行会社 兼 保管銀行 兼 投資顧問会社：イタウ・ユニバンコ・エス・エー

(1) 財政状態計算書

2019年12月31日現在

投資／銘柄	数量	公正価値／実現可能価額 千レアル	純資産に対する比率 %
1. 現金および銀行		4	0.00
銀行預金		4	0.00
2. 債券		1,464,477	101.75
2.1 利付国債および物価連動国債－NTN		1,130,371	78.54
2.2 変動金利国債－LFT		191,635	13.31
2.3 割引国債－LTN		142,471	9.90
3. デリバティブ金融商品		756	0.05
3.1 先物市場		756	0.05
4. 資産合計		1,465,237	101.80
5. デリバティブ金融商品		637	0.04
5.1 先物市場		637	0.04
6. 未払金		25,373	1.76
7. 負債合計		26,010	1.80
8. 純資産		1,439,227	100.00

(2) 運用純資産変動計算書

2019年および2018年12月31日に終了した会計年度

(単位：1口当たり証券価額を除き、千リアル)

			2019年12月	2018年12月
期首現在純資産				
合計	5,454,964.557	1口当たりの価額 304.354034	1,660,240	
	5,765,833.350	1口当たりの価額 393.136365		2,266,759
証券の発行	189,610.962		58,000	
	857,913.266			319,000
証券の償還	634,170.266		(598,717)	
	1,168,782.059			(1,144,095)
アモチゼーション			(318,758)	(727,236)
証券の償還の変動額			407,717	764,095
当期損益控除前純資産			1,208,482	1,478,523
当期損益の構成：				
Aー債券およびその他の有価証券			213,024	205,413
公正価値でのインカム・ゲインおよび評価益の認識			147,894	188,690
取引利益			65,130	16,723
Bーその他の収益			199,036	166,573
デリバティブによる利益			199,036	166,573
Cーその他の費用			181,315	190,269
投資顧問会社報酬			4,027	5,027
監査および保管			85	90
デリバティブによる損失			176,859	184,825
検査報酬			68	68
雑費			276	259
当期純利益			230,745	181,717
当期末現在純資産				
合計	5,010,405.253	1口当たりの価額 287.247612	1,439,227	
	5,454,964.557	1口当たりの価額 304.354034		1,660,240

(3) 有価証券明細

2019年12月31日現在

銘柄名	利率	評価額	償還年月日
	%	ブラジルレアル	
NTN-B (物価連動国債)	6.00	372,892,156.87	2022/8/15
NTN-B (物価連動国債)	6.00	275,521,988.76	2020/8/17
NTN-B (物価連動国債)	6.00	151,837,928.42	2026/8/17
LTN (割引国債)	—	137,374,984.38	2021/4/1
LFT (変動金利国債)	—	80,715,156.49	2023/3/1
NTN-B (物価連動国債)	6.00	69,908,007.19	2050/8/15
NTN-F (利付国債)	10.00	68,030,809.39	2027/1/4
LFT (変動金利国債)	—	57,379,850.84	2023/9/1
NTN-B (物価連動国債)	6.00	56,649,161.36	2045/5/15
LFT (変動金利国債)	—	47,247,246.18	2021/9/1
NTN-B (物価連動国債)	6.00	34,405,927.54	2028/8/15
NTN-B (物価連動国債)	6.00	33,869,194.59	2035/5/15
NTN-B (物価連動国債)	6.00	24,925,551.38	2023/5/15
NTN-B (物価連動国債)	6.00	21,236,981.01	2055/5/17
NTN-B (物価連動国債)	6.00	14,734,126.03	2030/8/15
LFT (変動金利国債)	—	5,444,370.29	2020/9/1
LTN (割引国債)	—	4,995,415.67	2020/7/1
NTN-B (物価連動国債)	6.00	3,177,313.93	2024/8/15
NTN-B (物価連動国債)	6.00	2,545,166.17	2021/5/17
LFT (変動金利国債)	—	659,583.08	2021/3/1
NTN-B (物価連動国債)	6.00	509,367.50	2040/8/15
LFT (変動金利国債)	—	188,461.16	2020/3/2
NTN-F (利付国債)	10.00	121,966.43	2029/1/2
LTN (割引国債)	—	79,380.70	2022/1/3
LTN (割引国債)	—	20,996.27	2020/1/2
NTN-F (利付国債)	10.00	5,498.55	2021/1/4

(有価証券明細はイタウ・ユニバンコ・エス・エー提供のデータより作成しております。)

短期公社債マザーファンド

運用報告書

第14期（決算日 2020年8月24日）

（計算期間 2019年8月23日～2020年8月24日）

短期公社債マザーファンドの第14期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則、無期限です。
運用方針	主としてわが国の短期公社債に投資し、利子等の安定した収益の確保をはかることを目的として運用を行います。
主要投資対象	わが国の公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

■最近3期の運用実績

決算期	基準価額	期騰落中率		債組入比率	債先物比率	純資産額
		期騰	落中率			
12期(2018年8月22日)	円 10,188		% △0.1	% -	% -	百万円 375
13期(2019年8月22日)	10,182		△0.1	69.0	-	365
14期(2020年8月24日)	10,181		△0.0	91.1	-	357

(注1) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

(注3) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

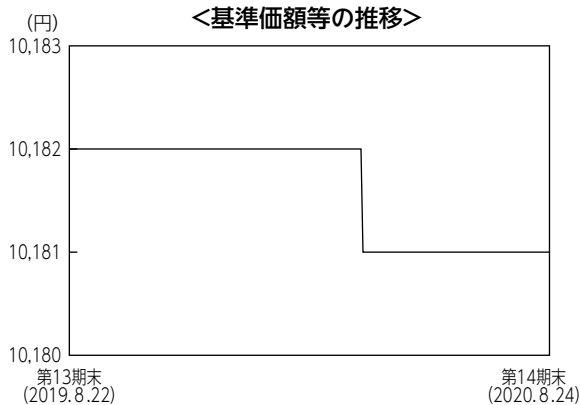
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2019年 8 月22日	円 10,182	% -	% -	% 69.0	% -
8 月 末	10,182	0.0	69.0	-	
9 月 末	10,182	0.0	68.9	-	
10 月 末	10,182	0.0	68.8	-	
11 月 末	10,182	0.0	68.8	-	
12 月 末	10,182	0.0	68.8	-	
2020年 1 月 末	10,182	0.0	68.7	-	
2 月 末	10,182	0.0	68.6	-	
3 月 末	10,182	0.0	14.8	-	
4 月 末	10,181	△0.0	91.4	-	
5 月 末	10,181	△0.0	91.3	-	
6 月 末	10,181	△0.0	91.2	-	
7 月 末	10,181	△0.0	91.1	-	
(期 末) 2020年 8 月24日	10,181	△0.0	91.1	-	

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2019年8月23日から2020年8月24日まで）



※国庫短期証券（TB）3ヵ月利回りの低下は価格の上昇を示し、逆の場合は下落したことを示します。

基準価額の推移

当ファンドの基準価額は、前期末比で0.01%下落しました。

基準価額の主な変動要因

基準価額の変動要因として保有債券からの利息収入などのプラス要因はありましたが、マイナス金利による影響が大きく前期末比で基準価額は下落しました。

投資環境

国内短期金融市場では、3ヵ月国庫短期証券利回りは日銀の金融緩和政策の影響からマイナス圏で推移しました。日銀が黒田総裁の第2期就任以降も「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を続けており、国債利回りには低下圧力がかかっていることが要因となりました。

ポートフォリオについて

残存期間の短い公社債などで運用を行いました。

今後の運用方針

引き続き短期公社債などを中心に投資を行い、安定した収益の確保を目指します。市場環境によっては、目標とする運用ができない場合があります。

■ 1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

■ 売買及び取引の状況 (2019年8月23日から～2020年8月24日まで)

公社債

		買 付 額	売 付 額
		千円	千円
国	内 地 方 債 証 券	327,357	— (250,000)

(注1) 金額は受渡代金です (経過利子分は含まれておりません)。

(注2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2019年8月23日から2020年8月24日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	当 期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
地 方 債 証 券	千円 323,830	千円 325,906	% 91.1	% 80.0	% -	% -	% 91.1
合 計	323,830	325,906	91.1	80.0	-	-	91.1

(注1) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 無格付銘柄については、B B格以下に含めて表示しています。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債銘柄別

銘 柄	当 期		末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
(地方債証券)	%	千円	千円	
22年度9回 千葉県公募公債	1.2200	14,300	14,357	2020/12/25
27年度3回 千葉市公募公債	0.1300	39,530	39,545	2020/12/25
96回 共同発行市場公募地方債	1.2900	270,000	272,003	2021/03/25
合 計	-	323,830	325,906	-

■投資信託財産の構成

2020年8月24日現在

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 325,906	% 91.1	千円 325,906	% 91.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	31,917	8.9	31,917	8.9
投 資 信 託 財 産 総 額	357,824	100.0	357,824	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年8月24日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	357,824,607円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	30,153,642
地 方 債 証 券(評価額)	325,906,824
未 収 利 息	1,372,900
前 払 費 用	391,241
(B) 負 債	-
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	357,824,607
元 本	351,462,046
次 期 繰 越 損 益 金	6,362,561
(D) 受 益 権 総 口 数	351,462,046口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C/D)	10,181円

(注1) 期首元本額	358,828,662円
追加設定元本額	0円
一部解約元本額	7,366,616円
(注2) 期末における元本の内訳	
新光ビュア・インド株式ファンド	218,092,300円
新光ブラジル債券ファンド	107,294,012円
世界好配当アドバンスト・インフラ株式ファンド円コース	3,075,095円
世界好配当アドバンスト・インフラ株式ファンド豪ドルコース	12,848,750円
世界好配当アドバンスト・インフラ株式ファンドブラジルレアルコース	8,690,514円
世界好配当アドバンスト・インフラ株式ファンド南アフリカランドコース	523,497円
世界好配当アドバンスト・インフラ株式ファンドマネーボールファンド	937,878円
期末元本合計	351,462,046円

■損益の状況

当期 自2019年8月23日 至2020年8月24日

項 目	当 期
(A) 受 取 利 息 等 収 益	3,494,602円
受 取 利 息	3,535,132
支 払 利 息	△40,530
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△3,534,698
売 買 損	△3,534,698
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	△40,096
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	6,536,041
(E) 解 約 差 損 益 金	△133,384
(F) 合 計(C+D+E)	6,362,561
次 期 繰 越 損 益 金(F)	6,362,561

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。